

学年主任のひとりごと その2

～ 私はこんなことをつぶやくはずだった ～

あなたに質問です。「**難関 10 大学**」とはどの大学のことでしょう。「その1」を読んだ人はすぐに答えられますね。北からいきましょう。**北海道大学・東北大学・東京大学・一橋大学・東京工業大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・九州大学**です。

私は中学生・高校生のころ、全く勉強をしませんでした。そこで、教員になってこの「**難関 10 大学**」や「**医学部医学科**」に進学しそうな生徒がどんな勉強をしているのか教えてもらいました。この話をすると枚挙にいとまがないので、今回は割愛します。しかし彼らに共通していることが2つありました。

一つは「**12時に寝て6時に起きる**」生活です。あなたは「今日は眠たいので朝3時に起きて勉強しよう」と思ったことはありませんか。そして起きたら7時だった。私は高校時代、こんなことは日常茶飯事でした。何を幸せと感じるかは千差万別ですが、ある意味、幸せな人生を送る人は時間の使い方が上手です。人間にとって平等なものは「24時間という時間」だけです。それをどう使うのか。それが大切だと学びました。

2つめは「**中学2年生の3学期に志望大学を決めている**」ということです。あなたも実は漠然とそうではありませんか。今回のレポートはあくまで「学部研究レポート」ですが、**難関 10 大学**を目指すあなたは迷わずその大学の研究をしてみましよう。どんな先生がいてどんな講義や演習をしているのか。どのくらいの科学研究費なのか。何学部があるのか。入試制度はどうなっているのか。夢がふくらむはずです。

そろそろ本題に入りましょう。「学部研究レポート」へのアシストです。昔は「医者になりたい」→「医学部」→「理系」などと進路指導をしていました。でも、そもそも「文系」「理系」と区別するのは日本くらいです。最近は都会型の高校では文系理系を分けてのクラス編成や授業を行わなくなっています。

たとえば**あなたが建築家になりたいとして、何学部に進めばよいでしょうか。**あ

あなたなら「それは工学部でしょ」と即答するでしょう。しかしグローバルには「芸術学部」です。日本にも唯一、建築学科をもつ芸術学部のある大学があります。興味のある人は調べてみましょう。

私は何が言いたいのか。次の質問をしてみましょう。**あなたはどの教科が好きですか。**そうか、国語か。国語を大学で学びたければ何学部に進めばよいでしょうか。そうです。文学部です。しかし「国語」は大学では「日本語学・日本文学（上代・中古・中世・近世・近代・現代）・中国文学・書道」など細かく分かれていきます。数学なら理学部数学科でしょうか。

あなたが行ったジョブチャレンジは「働くこと」について考えるのであって、職業を選択する参考にするものではありません。したがってあなたたちの希望は教員と医療従事者が多かった。あたりまえです。14歳でこれらの職業以外を知っているとしたらそうとうなマニアです。そうではなく、**自分の得意分野を振り返ってみませんか。**他者と比較する必要は全くありません。自分が一番好きな教科で学部を選んでみましょう。**興味・関心のある教科をもっと深く学ぶには何学部に進学すればよいのか。**チャレンジです。

要するに今回の課題は自分の14年間の人生をふりかえり、長所を見つけ、それをのばしていくということにあります。あなたの轍（キャリア）をみつめてください。きっと未来は拓けるはずです。自分のために書いてください。楽しみにしています。